



山の夜に 続く水音 笹の息
寄せる草の香 潮騒の君

令和四年八月十四日

大中臣正比呂

夜の山は不思議だ。せせらぎを流れる水の音は常に音を馳せ、
息をつくように繰り返す風が笹の葉を揺らす。

その二つの音は、まるで海辺に立ったように聞こえる。

運ばれて来る草の香りは夏の日の恋を蘇らせてしまった。